

知床の森から



北見営林支局 〒099-41 北海道斜里郡斜里町本町11番地
知床森林センター TEL 01522-3-3009 FAX 01522-3-3160



知床は「今！」

知床で生きる動植物にとって、長く厳しい冬を乗り越えた見返りにしては「春は短すぎる！」そんな声もよそに知床の春は過ぎて行きました。知床野営場で例年子育てしているクマゲラ夫婦も、キャンパーが訪れる前に無事3羽のヒナを育て、半島は観光バスが目立ち始め、観光シーズン到来・夏本番となっています。



【 野営場のクマゲラ 】

そんな中、海岸ではもう秋鮭漁の準備が始まり知床は人も動植物も一年中で最も忙しい季節を迎えています。



知床半島の模型製作始まる

知床を訪れる人々に、半島の全体地形を理解してもらおうと「知床半島立体模型」の製作が、職員実行により進んでいます。

立体模型は、2.5万分の1の縮尺で、完成すると横4m・縦2mの迫力あるものとなります。知床半島は「秘境」の名のとおり、全てを訪ね歩くことは不可能にちかく、ほとんどは写真および地図で全体像を想像して頂くだけでした。

完成後は、知床の起伏に富んだ立体地形をイメージし展示資料・写真をみて頂くことにより、今まで以上に知床半島を身近に理解してもらえるものと期待しています。



シリーズ「知床八景」

④ オロンコ岩



知床半島の海岸線を先端部に向け走行し、チャンコツ岬を過ぎると突然ウトロの街が目前に飛び込んできます。そのウトロ市街の海側に一際目立つ巨岩がウトロの象徴ともいえるオロンコ岩です。

標高58mの台形をしたオロンコ岩は、先住民族の天然要塞として使用され、頂上の平坦部には遺跡が確認されています。現在は頂上まで遊歩道が設けられ、観光客も容易に訪れることのできる好展望地となっており、ここからは知床連山の眺望とオホーツクに沈む落日、そしてオロンコ岩を取巻く岩礁と海底が、まるでガラスボートから覗いたように澄んだオホーツクの水を透して眺められる好ポイント地です。



【 知床のオロンコ岩 】



初夏の森トレッキング

地域イベントとして定着し好評を得ている森林レク。今回は知床自然観察教育林の奥深くまで足を踏み入れ「初夏の森の空気と彩色」そして「羅臼岳の雪解け水を集め流れる溪流と幾つもの滝」を、ご案内しました。

内陸では30度を越える猛暑の6月26日、インストラクターに先導された29名の参加者達は、森林の効用と動植物の説明を受けながら、背丈ほど生い茂るチシマ笹を掻き分け、最終目的地「轟の滝」まで森林浴&トレッキングで汗を流しました。コース上にあるポンホロ沼は、既に水も涸れ揚がり沼跡は、芝生のジウタンを敷き詰めたように、湿生植物が短い夏を闘い合っており、繁茂しており、「水を湛え、羅臼岳の勇姿を映すポンホロ沼」を見ることは出来ませんが、森林内に突然現れた大空間に、驚きと安堵の感は隔せないようでした。また静寂を突然打ち砕く、「クマゲラのドラミング」そして「樹々と風の会話」など超自然の演出に酔いしれ、充実した一日を過ごしました。



【 ドラミングを多く聴く 】



ゲラちゃんTVに登場！

森林センターのアイドルキャラクター「ゲラちゃん」がテレビに登場しました。可愛らしさと独創性がTV局の目にとまり、トレンドイなりサイクル人形として紹介されたものです。「ゲラちゃん」は森林レクの参加記念として、既に千羽以上が全国各地に旅立ち、国有林PRに頑張っています。